



つながる通信

新田
地区

防災意識向上勉強会

令和8年7月、太田市では豪雨により、市内各地で住宅の浸水などの被害がありました。

災害はいつ、どこで起こるか分かりません。

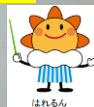
いざというとき、自分や家族、そして地域の人たちを守るために、私たちにできる備えとは何でしょうか。

新田地区民生児童委員協議会では、防災意識を高めるための勉強会を開催しました。その様子をご紹介します。



前橋地方気象台の講師の方による

「群馬県の気象災害と
防災気象情報について」



7月の豪雨を経験し、
災害への備えの大切さを
改めて感じています。
今回の勉強会を通して
防災への理解を深め、
地域の支え合いに
つながっていきたく
と思います。



新田地区
民生児童委員協議会
会長 丸山 亮 さん

令和8年9月3日(木)、新田福祉総合センターにて、新田地区民生児童委員協議会と新田地区社会福祉協議会の共催による「防災意識向上勉強会」が開催されました。

当日は、前橋地方気象台と太田市危機管理室による講義が行われました。

また、ハイゼックスを使った炊き出し訓練やダンボールベッドの組み立て、防災グッズの展示など、実際に体験しながら学ぶ機会もありました。

民生児童委員の皆さんも、講義に熱心に耳を傾け、実際に体験しながら防災について学びました。

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～

～皆さんにお話を伺いました～



新田地区民生児童委員協議会

写真左) 副会長 町田 美智子さん 写真中) 副会長 藤倉 八江子さん 写真右) 会長 丸山 亮さん

今回の勉強会は、防災士の資格をもつ町田さんの提案で開催されました。

町田さんからは「地域の福祉を担う民生児童委員が、災害時に一人暮らしの高齢者など、支援が必要な方を支えるためにも、日頃から防災について学ぶ機会が必要だと思い、企画しました。」とお話いただきました。



新田地区民生児童委員協議会 民生児童委員の皆さん

写真右) 小沼 睦明さん

小沼さんからは「今回参加して、自分の防災意識をさらに高めていきたいと強く思いました。なかなかこのような勉強会がないと意識が薄れてしまうので、今日をまたスタートとして、防災について意識していきたいです。」とお話いただきました。



町田さんを講師に、ハイゼックス(耐熱性のある袋)を使った炊飯を参加者全員が体験しました。炊き上がったご飯と一緒にレトルトカレーも温め、この日の昼食としていただきました。初めて体験する方も多く、皆さん熱心に取り組んでいました。

カレーとヨーグルトの昼食→



ハイゼックス

防災グッズの展示



太田市役所危機管理室による

「防災及び災害に関する
民生委員の役割」



ダンボールベッドの組み立て
危機管理室の方の指導により
完成させました

食料、靴、非常用トイレなど
約50点展示されました



日頃から地域を見守る民生児童委員の皆さんが、こうして防災について学ぶことは、地域にとって大きな安心につながります。いつ起こるか分からない災害に備えるには、日頃の準備と地域の「顔の見える関係」が不可欠です。一人ひとりの防災意識を高めながら、温かい支え合いを広げていきましょう。

＜お問い合わせ＞ 太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549
TEL 0276-46-6208 FAX 0276-46-6229

過去のつながる通信は
こちらから確認できます

